

第4回 大分川・大野川水系流域治水協議会

1. 概要

第4回協議会では、臼杵市、熊本県、産山村、高森町、宮崎県、高千穂町、大分地方気象台の新たな機関が参画し、大野川水系流域治水プロジェクトの変更及び2級水系における流域治水プロジェクトについて了承されるとともに、「大分川・大野川水系流域治水プロジェクト」の具体的な取組状況について確認しました。

2. 実施状況

- 日 時：令和4年5月27日（金）13:30~14:30
- 場 所：大分河川国道事務所 別館会議室（対面+WEB会議）
- 出席者：大分市長(代理)、竹田市長(代理)、豊後大野市長、由布市長、臼杵市長、大分県生活環境部防災局防災対策企画課長(代理)、土木建築部河川課長(代理)、砂防課長、公園・生活排水課長、建築住宅課参事監兼課長、都市・まちづくり推進課長(代理)、農林水産部農村基盤整備課長、森林保全課長(代理)、森林整備室長(代理)、中部振興局農林基盤部長、豊肥振興局農林基盤部長(代理)、豊後大野水利耕地事務所長(代理)、大分土木事務所長、竹田土木事務所長、豊後大野土木事務所長、産山村長(代理)、高森町長(代理)、熊本県土木部河川港湾局河川課長(代理)、阿蘇地域振興局土木部長、高千穂町長、宮崎県県土整備部河川課長、西臼杵支庁長(代理)、農林水産省九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所長(代理)、林野庁九州森林管理局大分森林管理署長(代理)、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター大分水資源整備事務所長、気象庁大分地方気象台長、国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所長

3. 議事内容

- ①規約の改正(案)について
- ②大野川水系流域治水プロジェクトの変更について
- ③各機関の取組内容について
 - ・大分川・大野川水系流域治水プロジェクト
 - ・大分川・大野川水系地区(2級水系版)流域治水プロジェクト
- ④その他
 - ・今後のスケジュール(案)について

4. 各機関の主な取組等

●大分市 土木建築部長（大分市長代理）

- ・雨水貯留タンクの設置補助を実施（R3年度:30件、R4年度:上限50件）
- ・大分市片島地区に雨水排水ポンプ場を建設中で今年度供用開始を予定。
- ・大分市下郡地区及び花園地区の2箇所に災害対策ポンプ施設を整備予定。
- ・本協議会を通じて、国や県、流域の皆様とともに、ソフト、ハード一体となった防災対策をさらに加速化させ、水害リスクの低減に向けて取り組んでいく。

●竹田市 副市長（竹田市長代理）

- ・これまで河川監視カメラを7箇所に設置し、リアルタイム映像を市民の皆様へ24時間発信しており、今後も河川監視カメラの増設を予定している。

●豊後大野市長

- ・従来から設置していた柴北川緊急排水ポンプでは平成29年の台風18号の浸水被害を防げなかったため、令和2年度に排水能力を2倍に増強させる対策を実施。
- ・豊後大野市立地適正化計画を令和4年3月に策定し、居住誘導区域を設定。
- ・健全な森林整備を通じて皆さんと連携した防災対策に取り組んでいく。

●由布市長

- ・令和3年から立地適正化計画、居住誘導区域の検討を進めており、令和5年に公表予定。
- ・昨日、由布市総合雨水排水対策検討委員会を立ち上げ、今後の治水対策について計画的に推進していく。
- ・流域治水プロジェクトの皆様とも連携を図りながら取り組みを進めていく。

●臼杵市長

- ・内水被害の軽減を図るため、臼杵市内2級河川末広川水系の雨水幹線の排水路整備や調整池整備に取り組んでいる。
- ・今回より本協議会に加入させて頂くことにより、より一層の広域に渡る防災体制の強化が図られるように協力させて頂く。



大分河川国道事務所
所長 河崎拓実



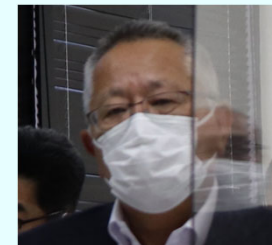
大分市（代理）
土木建築部長 吉田健二



竹田市（代理）
副市長 藤田和徳



豊後大野市
市長 川野文敏



由布市
市長 相馬尊重



臼杵市
市長 中野五郎